



通巻 130号
安曇野市豊科郷土博物館友の会
令和6年2月17日発行



「昭和 20 年 5 月 19 日」

戦時生活部副部長 藤原 恵正

日本人が、忘れられない日時というものがある。たとえば、2011年3月11日。また、昭和20年8月15日。この二日は、多くの国民（結構年齢は上かなあ）が日付とともに、その事実を思い出すに違いない。でも、今回は、昭和20年5月19日です。この日を言われて、その日にあった事実をつなげられる人は、多くないと思います。私も、この日に起きたことを知ってから、まだ10年もたっていません。この日は、私が戦時生活部に入り、体験された方のお話を聞き、本を読んでわかってきたのですから。

じつは、この日は、安曇野市穂高の2か所に、アメリカ軍の爆弾が投下された日なのです。1945（昭和20）年5月19日土曜日、時刻は午前11時45分頃。安曇野に侵入したアメリカ軍の戦略爆撃機B29 1機は、まず穂高の矢原堰を跨いで、6発の爆弾を落とし、その後、有明に向かい新屋のお宮、北西の田畑に12発の爆弾を落としたのです。どちらも田畑の広がる場所で、そこには午前中の野良仕事をしたり、片付けをしたりしている人がいたのです。そして、10人を超える人々がケガを負いました。また、新屋では現地で2人、病院で1人の方が亡くなられたのです。この時の様子を、何人もの方からお聞きしましたが、とりわけ、亡くなられた方のいた、新屋地区の被害は「語る事が憚れる」ほど重く、悲しいものだったのです。それでも、戦後何十年もたってから、話をしてくださる方が現れました。それは、「これを語り継いでいかないと、忘れ去られてしまう」という強い思いからでした。また、別の体験者の方は、「あの時、爆弾の落ちた現場は今のガザとおんなじなんだよ。」と語ってくれました。

今も、世界では、戦争の犠牲者が生まれています。「二度と、戦争の犠牲者を出さないで」という、体験者の願いに寄り添い、戦時生活部の活動を続けたいと思います。そして、昭和20年5月19日という日に何があったかを、市民の皆さんに届けたいと思います。

「博物館、庶務担当です。」

博物館職員 中山 文代

令和5年度、昨年4月から、博物館で庶務を担当しています。入館当時、企画展が開催されていないときは、入館者もまばらで、博物館がどうやって成り立っているか、不思議でした。しかし友の会の活動を知るにつれ、友の会皆さまの熱心な活動が、博物館のひとつの大きな柱となっていることが分かってきました。

友の会展もいくつか拝見しました。皆さまの活動の深さに、続けることの大切さも感じました。

皆さまが生き活きと友の会の活動を続けていただけるよう、お手伝いできればと思っています。お気づきの点がありましたら、いつでもお声かけください。

＜この一年、博物館で
印象に残った写真です。＞



上段左から
ワタ
ケイトウ・アメリカザリガニ
キハダ

令和5年度春季企画展が始まります！

はくせい動物園

～となりあって生きている野生動物たち～

令和6年2月23日（金・祝）～5月19日（日）



【タヌキ・ニホンリス・ホンドギツネ・アナグマのはくせいたち】

＜関連イベント＞ 申込：3/9の観察会のみ2/23（金）から博物館へ電話で。その他は3/2（土）から。

◆特別講演会「大型哺乳類 カモシカとツキノワグマ

どんな暮らし？どうつきあう？」

＜講師＞岸元良輔さん（信州ツキノワグマ研究会代表）
4月7日（日）13：30～15：00 豊科公民館大会議室
先着50人 参加費：100円

◆観察会「アニマル・トラッキング」*小中学生向け・大人同伴

＜講師＞植松晃岳さん（信州野鳥の会会長）
3月9日（土）9：30～12：00 長野県鳥川溪谷緑地
先着24人 参加費：100円

◆クラフト「生きもの切り紙とギャラリートーク」

*小中学生向け・大人も可 2階展示室&学習室
3月24日（日）①10：00～ ②14：00～
先着各回15人 要入館料 *小中学生向け・大人も可

◆トーク

①「古くからの隣人『里山動物』」

＜講師＞丸山隆さん（動物写真家）
3月30日（土）9：30～11：00 博物館学習室
先着40人 要入館料

②「芸能人は歯が命！はくせい目は命!!」

＜講師＞小椋緑さん（長野県鳥川溪谷緑地）
4月13日（土）①9：30～②11：00～③13：30～
博物館学習室 先着各回10人 要入館料

③「ツキノワグマを知ろう！」 *小中学生向け・大人も可

＜講師＞浜口あかりさん（信州ツキノワグマ研究会）
4月29日（月）9：30～11：00 博物館学習室
先着40人 要入館料

◆ゲーム「生きものたちのつながりが学べる

『カードゲーム』であそぼう！」

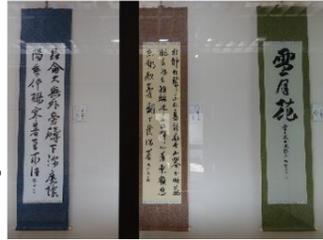
*小学校4年生以上 博物館学習室
5月11日（土）①10：00～ ②14：00～
先着各回15人 要入館料

*詳細は、広報やチラシをご覧ください。

第69回新春書芸展

新春にちなんだ詩や故事等、真心のこもった書13点が出品されました。1月18日にはギャラリートークも行われました。

一つ一つの作品をじっくりと見入っている方がたくさんおられました。



【部員の作品と千野秀壽部長のギャラリートーク】

第9回戦時生活展

【中日新聞 2024.1.13より】



きょうから「安曇野にも戦争があった!」展

1943年に銃剣の訓練をする南農生を撮影したパネル。身近にあった戦史を伝える。安曇野市豊科郷土博物館で。

「安曇野市豊科郷土博物館」の「戦時生活展」が13日より開催された。開会式も行った。28日まで。今回は当時の中等学校生徒に焦点を当て、特に地元南安曇野農学校(現南安曇野農学校、南農)の戦時生活を取り上げた。14日には当時の南農生、一志豊さん(84)の体験を聞く会もある。

開墾や教練の体験 写真や資料で話を聞く会も

「安曇野市豊科郷土博物館」の「戦時生活展」が13日より開催された。開会式も行った。28日まで。今回は当時の中等学校生徒に焦点を当て、特に地元南安曇野農学校(現南安曇野農学校、南農)の戦時生活を取り上げた。14日には当時の南農生、一志豊さん(84)の体験を聞く会もある。約半年後の46年3月。戦開幅でなく、ずっと欲しかった学生帽を松本の店でみんなどで作って、松本城の石垣の上で乾板写真に納まった。「平和を感じた」と。(白井さん)

農学校生戦時中の苦労紹介

「実習」「前へ進め」。軍隊調の指示で、くわを担いで畑へ行き、「休め」と言われるまで腰を伸ばせなかった。穂高有明の原野の開墾もした。教練では、教官の体罰に耐え、木銃で相手を突き刺す銃剣術の訓練をした。女子生徒は挺身隊として工場や病院で働いた。「滑空班」と称し、川原でグライダーの操縦訓練も。先生には「滑空班は優先的に航空兵になれる」と言われた。卒業は敗戦から約半年後の46年3月。戦開幅でなく、ずっと欲しかった学生帽を松本の店でみんなどで作って、松本城の石垣の上で乾板写真に納まった。「平和を感じた」と。(白井さん)

た空襲体験や東南海地震などを絵入りでまとめた冊子の抜粋、戦死者の遺族の暮らしや穂高空襲の概要などのパネル、軍事郵便「興亜進軍絵図入り封筒」やアルパム、開墾くわといった実物の資料も並ぶ。

白井さんは「安曇野の10代の学生や女性が銃後で戦争をしていった身近な歴史を、展示と体験者の話で今の若い人に伝えたい」と話している。

一志さんの体験を聞く会は14日午後1時30分から、豊科公民館。21日午前10時から郷土博物館で、旧満州(現中国東北部)で航空兵の訓練をした高山美玲さん(98)が話す。観覧も聴講も要入館料。◎同博物館 0263(72)5672 (逢沢哲明)

植物画部

【植物画】の楽しみ

部長 川上 公子

友の会植物画部は山田恭子先生にご指導いただき17名で活動しています。NHK連続テレビ小説「らんまん」で植物画の認知度もアップしたのではと思います。制作はとにかく対象物の観察です。実物大で正確に描く事が必須です。同じ題材でも誰とも違う作品になるのも楽しみの一つです。自然が作り出す色を表現する事の難しさもあります。1作品を仕上げるのに1～2ヶ月、もっとかかることもあります。教室では植物の名前、育て方、特徴など植物談義もあり植物の不思議、魅力に感心し知識も身につきます。可憐な蕾、様々な形態の花、枯れ葉、虫食いの葉にも愛おしさを感じながら描いています。

ボタニカルアート展が開催されましたら絵の仕上がるまでも想像しながら見ていただくと嬉しいです。また興味のある方は是非教室に見学においでください。



写真部

「写真部の活動」

部長 藤松 義躬

写真部の発足は、昭和61・2年ころでしょうか。当時は会員数も多かったようです。平成21年13名となり、現在は6名で活動しています。若い世代の新入会員を希望していますが、なかなか厳しい状況です。各地の写真倶楽部が消滅、縮小化していますが、さみしい次第です。当会員は年配者であり、写真ではベテランの方々です。現在、特に撮影会等は実施していませんが、各自活動で撮影しています。今後もうしばらく写真を撮れるよう頑張ります。



【高瀬川冬景色】

*午後2時頃、雪の河原で不思議な光景に出会いました。雪をかぶった石ころの陽が当たる南側が融けています。この日は天気も良く河原を主体にして鹿島槍をバックにして撮りました。

令和6年度の第38回友の会写真展では、撮りためた写真の中から一人2点～5点の展示を予定しております。

写真展にあたって博物館の方々には大変お世話になりますが、よろしくお願いたします。

今後の友の会展覧会予定

第40回山草・サクラソウ展

5月3日(金)～5月5日(日)

丹精込めて育てられた山野草・サクラソウが毎年100鉢近く展示されます。是非ご観覧ください。

6月1日(土)～6月23日(日)

第38回写真展

一瞬の表情をとらえたフォト。どんな瞬間が展示されるのか、今から楽しみです!

第19回ボタニカルアート展

植物学的に、特徴などを正確に、しかも美しく魅力的に描かれた『植物学的な芸術』を友の会会員の皆さんもお楽しみください。

令和6年度 博物館展覧会スケジュール(予定)

- ※ 令和6年度 夏秋季企画展 「絵地図で見る江戸時代の安曇野」
- ※ 令和6年度 春季企画展 「食卓の風景」

今年度の友の会活動へのご協力、どうもありがとうございました。来年度も引き続き、ご入会を希望される方は改めて会費をお納めください。令和6年度の会員証を発行いたします。タカラさがし部については、4月に小学校を通じて募集のお知らせをします。

友の会会報は博物館のホームページで、カラーで見ることができます。是非ご覧ください。